

女性のための政策参画セミナーinみやき町を開催しました

連続セミナー「思う 伝える 変えてゆく 子どもたちへ手渡す わたしたちのまち」

平成24年11月6日(火)と11月20日(火)に、みやき町と共催で連続セミナーを開催しました。会場はみやき町コミュニティセンターこすす館。JAさがさが東部女性部、みやき町商工会女性部、NPO法人佐賀県放課後児童クラブ連絡会、みやき町親子サークルにじいろスマイルの協力で行いました。

第1回 話すことは簡単なのに 伝えることは難しい？

セミナー第1回の講師は、佐賀女子短期大学非常勤講師の池田宏子さん。明治生まれで103歳で亡くなられたご自分のお祖母さんの話から始まりました。女性に選挙権がなかった時代を生きてきて、戦後、選挙権を獲得したことを心から喜び、必ず投票に行っていたそうです。一票で世界は変らないけれど、誰もが平等に持っている一票、民主主義の基本です。若者も投票体験をすることで、政策に関心をもつことができると話されました。

私たちの声を届ける必要性について、裁判員制度を例にあげられました。裁判員を決める際に男女の比率は考慮されていないこと、(介護や育児は女性がするものとされている現状では)女性が辞退することが多いので、男性の比率が高くなりがちなこと、性被害の裁判の判決を聞いて、女性の裁判員が多かったら加害者を無罪にしたろうか、と思うケースがあったことなどを話され、「女性の比率が増えないと、女性が安心して暮らせる社会にならない」と語られました。

池田さんは、審議会等の委員にと声がかかるということは求められているということであり、「私でいいですね。はい承りました」と受けてくださいと話されました。専門的なことはわからなくとも「私の声」が必要とされていると受けとめ、差し出された手を握ってくださいと語られ、審議会等委員になると、市町のつくった計画に興味をもって実施に目を配るようになる、それが委員になる意味であると話されました。



後半はグループに分かれて「伝える」ワークを行いました。人は話すことで自分の考えをまとめているのだそうです。幼い頃から誕生日のお祝いに集まってくれた友だちや家族に、感謝の気持ちやこの一年でできたことを話す、お正月に新たな一年の抱負を語るなど、スピーチの習慣をつけるためにできることを話されました。

人に伝えるためのコツは、表情豊かに、身振り手振りも添えて、気持ちを込めて。各グループから話し合いのまとめについて報告した発表者は、それぞれ工夫してアピールし、大きな拍手を浴びました。

参加者の感想から

- とても勉強になりました。私の意見の大切さ、みんな1人1人の存在の大切さを感じました。
- 参加して、女性のエネルギーのすごさや、それを、外に向け、手を挙げ、声を出すことの大切さを学びました。できることからコツコツとしていきます。
- 男女共同参画の必要性が伝わりました。女性が元気で参加する事が、本当に地域、県、国、そして世界へと続いていくのではないのでしょうか。
- これまで以上に市政に参加したいと思いました。
- 審議会の話や、裁判員制度のことなど、とてもわかりやすく伝えていただけてよかったです。“公募”がもっと身近にあって、いろいろな場面で、一市民としてかかわる場が増えるといいなと思います。

第2回 ほいくえん、がくどうほいく、がっこう、としょかん・・・ みーんな〇〇が決めるのです。さあ、関わりましょう♪

セミナー第2回は、伊万里市議会議員の盛泰子さんを講師に開催しました。盛さんは、伊万里市の図書館づくりの市民運動の中で、市議会議員の補欠選挙で議員になり、20年になると自己紹介されました。

審議会等へ積極的に参画を進めるために、市町に対して公募枠を要請すること、傍聴すること、委員になったら資料の事前配布を提案すること、必ず質問することなど、「参画するための環境づくり」について話されました。その中で、「登用」という言葉は、「ほんとうはふさわしくないけれど、特別に引き上げ、持ち上げて使う」という意味があるので、伊万里市では登用率ではなく、選任率という表現に変えてきたと話されました。



後半は5人ずつのグループになり、クロスロード(岐路、分かれ道)ゲーム。設問に対し、YES、NOの2枚のカードから選んで、自分はどう考えるという意思表示をし、どうしてそう考えたのかをグループ内で発表します。「自分とは異なる意見・価値観の存在への気づき」を目的としたこのゲームは、どの意見も否定することなく、それぞれの価値観を尊重する体験となりました。

盛さんは最後に、ものを言いやすい場づくりを心がけること、新聞に投稿したり、町長や「かかりつけの議員」に意見を伝えること、選挙のときに「選ぶ」こと、チャンスがあったら議員になることなど、暮らしやすい町にしていけることを話され、「したたかに、しなやかに想いを伝えていきましょう」と呼びかけられました。

参加者の感想から

- 地域活動をしていく元気をいただきました。ありがとうございました。
- 自分の思いや気づきを伝えることは大切だと感じました。
- 男性、女性というよりも“人”としてどう考え、どう関わっていくのかを学びました。
- これからしていかなければならない事へのヒントがたくさんありました。
- 今までは、政治や行政というものはもっと堅苦しいもの、遠いものという先入観がありましたが、少し身近に感じることができました。
- まずは、審議会の傍聴に行きたいと思います。

女性のための政策参画セミナー 今後の日程

公開講座「わたしたちの声をいかした地域づくり～防災を考える」

唐津市・小城市・有田町・みやき町と共催し、公開講座を開催します。男女共同参画の視点で、防災、減災を考え、わたしたちの声をいかした地域づくりに取り組みませんか。

(講師) 堂本 暁子さん(前千葉県知事 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表)

(日時) 平成25年2月15日(金)13:00～15:00 (開場 12:00)

(会場) 唐津市文化体育館 2階大ホール

(参加) 無料

(申込) 事前申込み不要 当日先着順

* 手話通訳、一時保育(6ヵ月から就学前まで)を希望される方は、平成25年2月8日(金)までに、下記へお申し込みください。

(手話通訳・一時保育申込先) 唐津市男女共同参画・地域づくり課 女性のための政策参画セミナー担当

TEL 0955-72-9239 FAX 0955-72-9180

Eメール danjo-kyoudou@city.karatsu.lg.jp

[<< 戻る](#)

[↑ このページの上部へ](#)



アクセス・交通機関のご案内 ▶



お問い合わせ/ご意見・ご要望 ▶

佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

日曜・祝日:8時30分～17時00分

(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)

12月29日から翌年1月3日まで